



クライマ Ver2

「くらいまあ」山之上の「登山家（とざんか）」



令和5年5月30日
校長通信（だより）5

夜空（よぞら）を見上（みあ）げよう！

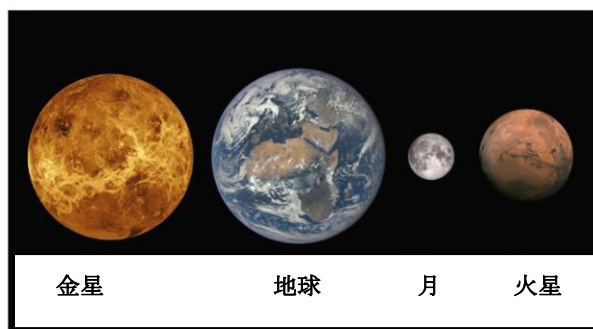
みなさん、早いもので5月も終わります。気候も穏やかで過ごしやすい季節ですね。日がのぼる時刻も1年で一番早い頃です。（AM 4時47分）

夕方は、なかなか暗くならないのですが、西の空に「1番星」が見えています。

その1番星は、何か？と先日の児童集会でもお話しましたが、「金星」です。「金星」は、とても明るく光っているのに、望遠鏡で見るといつも「三日月」にしか見えません。

金星は、地球と双子星とも言われてきましたが、大きな違いがたくさんあって、とても不思議な星（惑星）です。

そんな不思議な「1番星の金星」をながめると嫌なことも忘れてしまいそうですね。きっとお願いごとをすれば、叶うかもしれません。



○金星は地球より、わずかに小さいが、内部構造等はそっくり。

○金星では、太陽は、西からのぼって東に沈む。

（太陽系の惑星では、金星のみが逆方向に自転する）

○1年（太陽を1周＝公転）しても、1日（金星が自体が1回転する＝自転）が終わらない。（1年は、224日、1日は243日）

○ぶ厚い二酸化炭素の雲に覆われていて、硫酸の雨が降る。

○地表の温度は 460 度（太陽系の惑星の中で一番暑い）もあり、地上にふる前に、雨は蒸発してしまう。

（問題）金星と水星はどちらが暑い惑星でしょうか？

……答えは上の○の文章から探してね。